

2014年8月1日

A4一枚で伝える

大阪教区教化体制策定委員会発行

策定ホットライン

第1号

策定
委員会

について



策定委員会とは、すでに15年を経た、現在の大阪教区の教化体制を見直すために出された**答申(意見書)**を受けて現教化体制を再構築するために設けられた委員会です。一年間という短い期間の中で、親鸞聖人のねがいを同朋の皆さんに伝えていく(=教化活動)ための具体的方法をただ今模索中です。



策定委員会キャラクター
さっくうー(策空)

配線工事はじめます!

素早く繋がる! 寺~組~教区!

「答申」が目指すこれからの教化のあり方

策定委員会委員長 山口 知丈

【願いを一つに】策定委員会では、「答申」に示された教化の課題や方向性を大切にしながら、どのような具体案を教区のみなさんに手渡せば良いのか、このこと一つを話し合っています。一番気がかりなことは、「門徒さんの声にどうしたら応えられるか」「教区の方々の願いを、どう形にしたら良いのか」という点なのです。

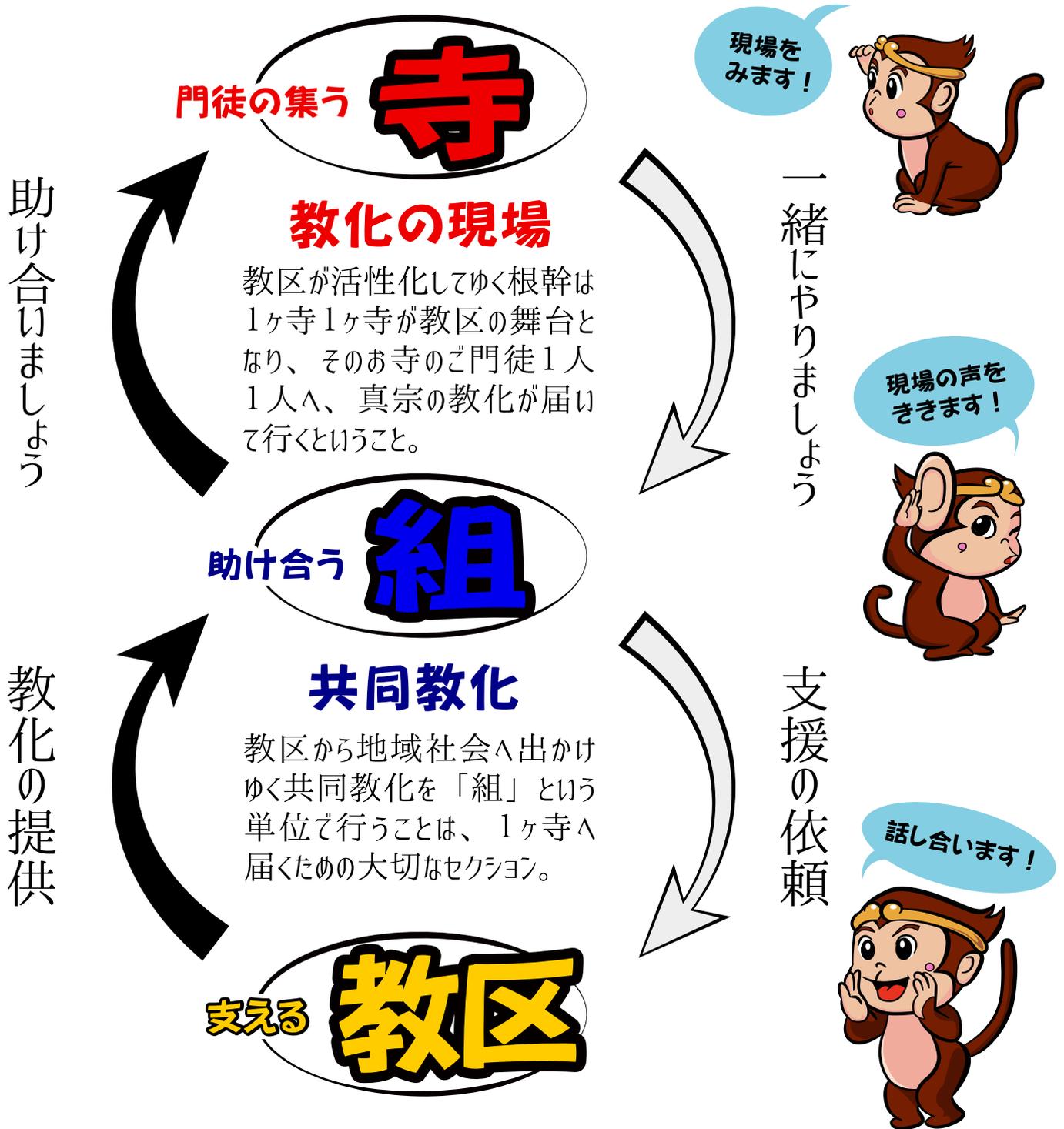
【教区の声を集めて】これまでに寄せられた様々なご意見の中でも、特に大切にしたい声として「教区の願いと組の実際とのギャップを感じる。組の現実と願いをくみ取っていく方途を考えるべき」「教区は、寺院や組の教化活動を支援するような活動を中心にしてほしい」という貴重なご指摘がありました。

【これから一年かけて】「教えが伝わる」というとき、そこには必ず、「人と人との出会い」があると思います。門徒、寺、組、教区というつながりの中で、それぞれの出会いや情報交換の場を提供し、そこから生まれた要請に応えていくことが、これからの教化のあり方だと考えています。みなさんの声をもっとお聴きし、「人と人とのつながり」が生まれる教区になるように心がけ、策定という「配線工事」に励んでまいります。



現在策定中。しばらくおまちください。

一人ひとりの門徒が主役。 そんな教区で行こうじゃないか。



今後教区がどのような支援をするのがBESTか？
そのためにいろいろとご意見をお伺いします。